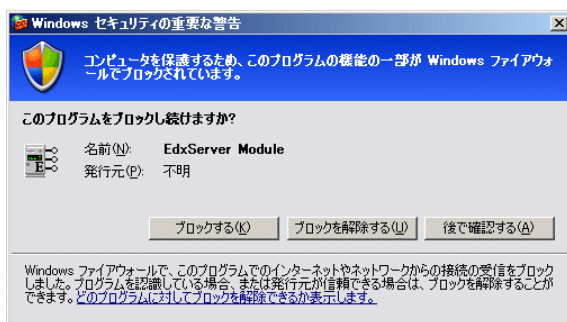


SEDX-500/510 における Windows®XP SP2 ファイアウォール設定方法

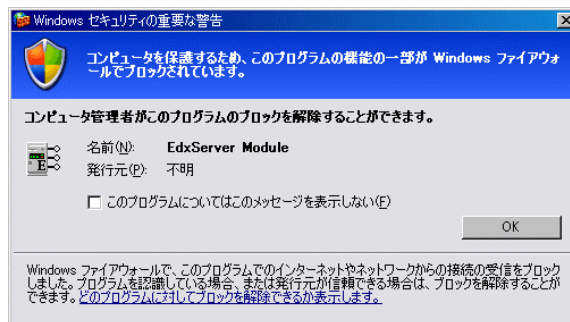
1. はじめに

SEDX-500/510 では、SP2 インストールにともない設定が必要になります。

WindowsXP SP2 をインストールされますと、面分析・線分析で測定を開始したときに、次の警告画面が出ます。

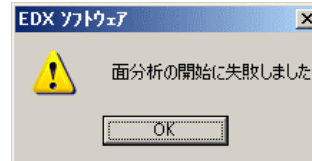
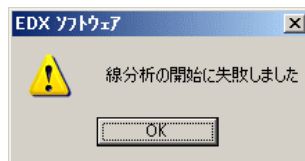
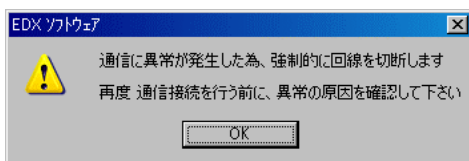


管理者権限の場合



制限ユーザーの場合

管理者権限の場合、「ブロックを解除する」を選択すると続行ができますが、すぐ選択しないとブロック期間が長くなりタイムアウトにより以下のようなメッセージが表示されます。



この問題を解決する手順を、以下にご説明いたします。

1. PCのファイアウォールの設定を無効にする

PC が置かれた職場の LAN がすでにファイアウォールに守られている場合に、個々の PC の WindowsXP ファイアウォール機能を無効にする場合です

2. PCのファイアウォールの設定は有効にしながら例外の設定を行う

セキュリティを高めるために、PC の WindowsXP ファイアウォール機能を有効にしながら、サービスを行うプログラムごとに設定を行う場合です。

2. ファイアウォールを設定しない場合

企業でご使用される場合、ほとんどの企業では、すでにファイアウォールが構築されているはずですが。こういう場面においては、基本的に Windows ファイアウォールを設定する必要はないものと考えます (Windows ファイアウォールは個人がルータなしで直接インターネット接続した場合の攻撃を防ぐためのものであり、ルータが存在する場合は、ルータでファイアウォールを設定し、個々の PC でファイアウォールを設定する必要はありません)。

そこで、ファイアウォールの設定を無効にし、WindowsXP SP2 による動作不良を回避します。以下は、その手順です。

【ファイアウォールの設定を無効にする方法】

- 1) Administrator で Windows にログオンする。
- 2) スタートメニューから [設定] → [コントロールパネル] と操作し、コントロールパネルを表示させる。

3) Windows ファイアウォールを開く。

(LUNA モードのときは、コントロールパネルをクラシック表示に切り替えてから Windows ファイアウォールを開いてください)

4) [全般]タブで「無効」のラジオボタンを選択し、[OK] ボタンを押す。



3. ファイアウォールを設定する場合

Windows ファイアウォールをご使用される場合は、WindowsXP のファイアウォールを設定するとともに、サービスを提供するプログラムごとに設定を行う必要があります。なお、Windows が提供するネットワークサービス機能 (ファイル共有など) については、そのサービスを設定した時点で必要な設定を行いますので、標準的な機能については設定の必要性はありません。

【ファイアウォールを有効にしながらか設定する方法】

1) Administrator で Windows にログオンする。

2) スタートメニューから [設定] → [コントロールパネル] と操作し、コントロールパネルを表示させる。

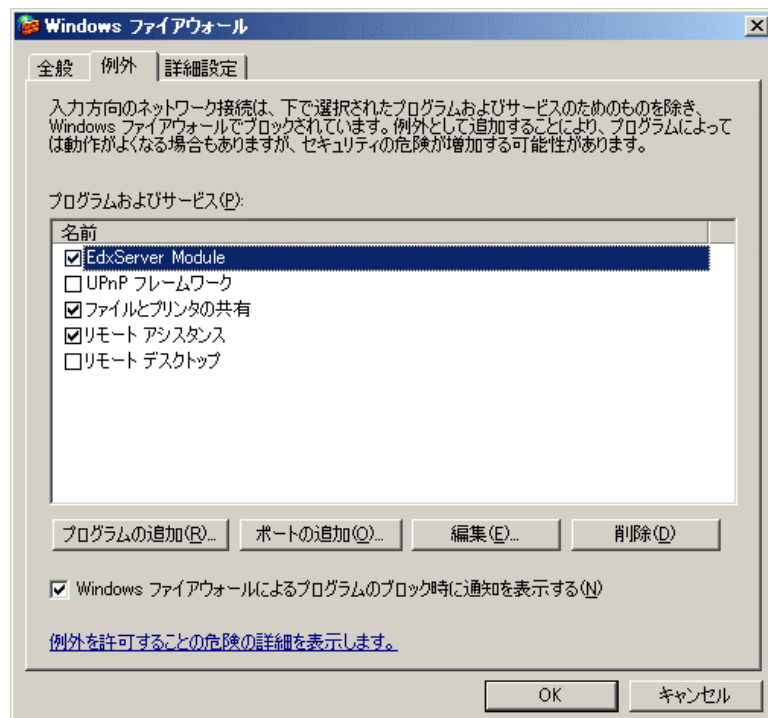
3) Windows ファイアウォールを開く。

(LUNA モードのときは、コントロールパネルをクラシック表示に切り替えてから Windows ファイアウォールを開いてください)

4) [全般]タブで「有効」のラジオボタンを選択し、「例外を許可しない」のチェックを外します。

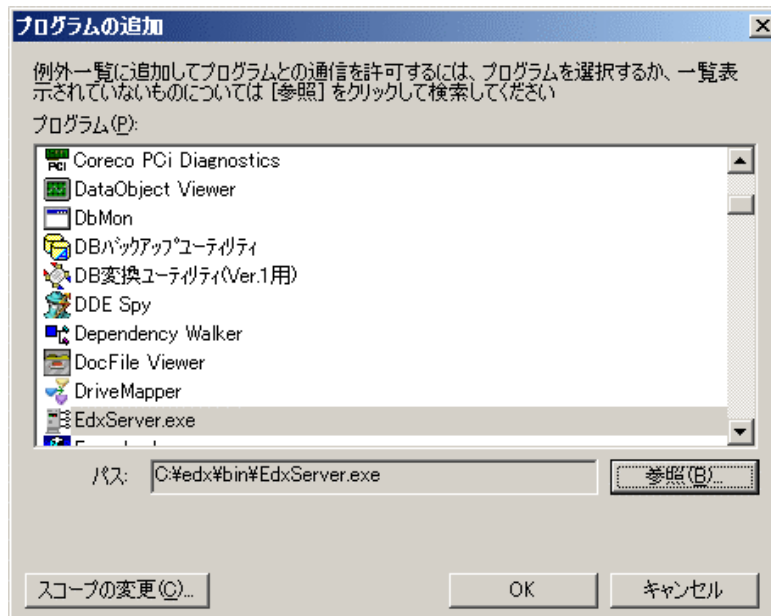


- 5) [例外]タブで、プログラムおよびサービスに”EdxServer Module”があるか確認します。あればチェックを入れた状態で[OK]ボタンを押し、Windows ファイアウォールを閉じます。

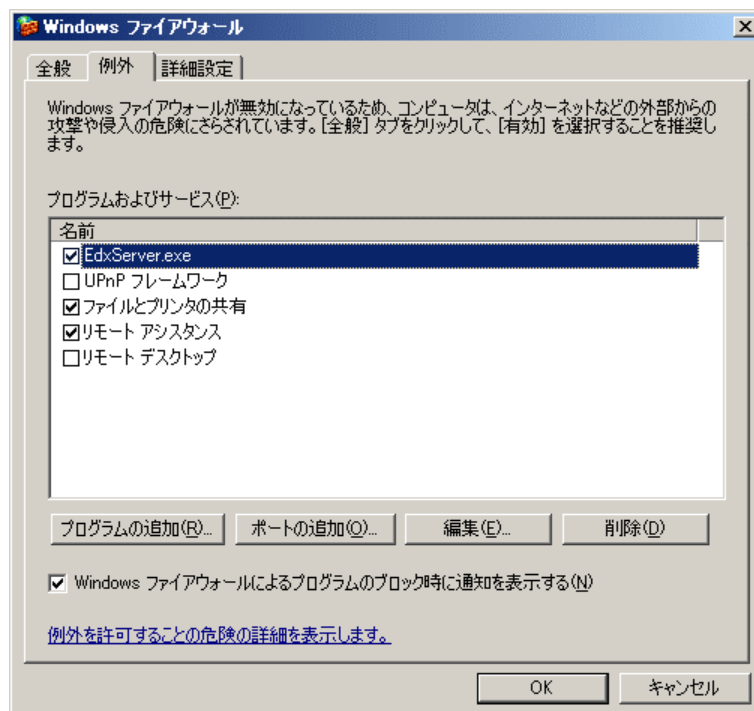


無ければ、以下の設定を行います。

- 6) [プログラムの追加]ボタンを押し、[参照]ボタンを押し、
 C:\¥edx¥bin¥EdxServer.exe を追加します。(EdxServer Module)
 (C:\¥は、インストールしたドライブなどにより変わります)



7) "EdxServer.exe"にチェックを入れた状態で、[OK]ボタンを押し、Windows ファイアウォールを閉じます。



以上。